科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 2 7 日現在

機関番号: 32652

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2019~2022

課題番号: 19H01305

研究課題名(和文)平安時代の「国風」的文化現象についての発展的学際研究

研究課題名(英文)A Comparative and Interdisciplinary Study of Multiple Aspects of the Cultural Nationalising ('Kokufu Bunka') in the Heian Period

研究代表者

佐藤 全敏 (SATO, MASATOSHI)

東京女子大学・現代教養学部・教授

研究者番号:20313182

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文):日本史学・日本文学・比較文学・美術史・建築史・仏教史・朝鮮史などの専門家が共同研究を行い、10~12世紀の「国風文化」と呼ばれる文化現象の実態を東アジアのなかに位置づけつつ解明した。「国風文化」とは、「すでに中国では失われたり、流行しなくなっていた古い唐風の文化」と、「日本のなかにあった文化」とが並立・融合し、そこに「唐物」と「断片化したいくぶんかの同時代の中国文化」とが加わって展開していった文化だった、との理解が得られた。

研究成果の学術的意義や社会的意義 世界中でナショナリズム的思潮が広がっている現在、「自国文化」と考えられているものの歴史的性格を、冷静 かつ十分に明らかにしておくことが求められる。本研究の結果、9世紀末以降に日本列島上で「国風文化」 (「日本的」な文化)が現れたとき、それは決して「混じりっけのない純粋な日本の文化」ではなく、また同様 に、「中国文化の枠組みをそのままに表面だけを日本的に変えただけのもの」でもなかったことが判明し、そこ から、圧倒的な影響力をもっていた中国の周辺地域の一つである日本において、どのようにして様々な国際的要 素が入り交じった独自の文化が生まれたのかを明らかにすることができた。

研究成果の概要(英文): In this research project, specialists in multiple disciplines, including Japanese history, Japanese literature, comparative literature, art history, architectural history, Buddhism history, and Korean history, collaborated closely to examine unique aspects of the cultural phenomenon known as the 'Kokufu Bunka' flourished from the tenth to twelfth centuries in Japan. By putting the phenomenon within the broad context of East Asian history, they concluded that the so-called "Japanese national culture" was a combination of "The Tang style culture that had already been lost or no longer popular in China" and "The culture that had been existing in Japan". The project, at the same time, clarified that the "Japanese national culture" was to some extent influenced by the "fragments of contemporaneous Chinese culture" as well as by the "imported Chinese goods (KARAMONO) of the time".

研究分野: 日本古代史

キーワード: 国風文化 唐風文化 ナショナリズム 和漢比較 唐物

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

- (1)1990年代以降、日本古代史研究の分野では、「国風文化」は本当に「国風(日本風)」だったのか、そもそも「国風」という枠組み自体に欺瞞性はないのか、といった厳しい問い直しが行われている。その背景には、第一に、「国民国家論」のインパクトにより、「国風文化」概念も国民国家の文化イデオロギーであったことが明らかにされたこと、第二に、対外関係史研究が進展し、遣唐使の停止以後のほうが国際交通・交易が活発になったことが明らかにされたこと、の2点がある。その結果、2000年代に入るころから、「国風文化」とは「中国文化の骨組みを残したまま日本で大衆化したもの」「ある意味では国際色豊かな文化」とする理解が有力になった。
- (2) これに対し研究代表者は、2000 年代後半に、10~11 世紀の日本列島においていかに唐物が流通し、国際的な経済交流が活発になろうとも、もはや中国を絶対的規範とすることがなくなっているようにみえることに気がついた。こうした見通しを検証するため、科研費(基盤研究(C)「平安時代における「国風」的文化現象についての学際的研究」、2016~2018 年度、研究代表者)を得て、国文学・比較文学・美術史・仏教史・朝鮮史・対外関係史・法制史・税財政史等々の専門家との共同研究を開始した。

その成果として、論文「国風とは何か」(2017年6月)で予備的な中間報告を行い、文化の諸領域に通底してみられる基本構造のいくつかを示した。幸い、ただちにこれに反応する研究者が多く現れ、拙論に応答するシンポジウムが京都と東京で各1回開催された(日本史研究会 2017年12月、國學院大學 2018年10月)。また「国風文化」についての論文が様々な研究者によって矢継ぎ早に発表されるようになった。私どもの共同研究の中間報告に対する疑問も多く寄せられ、「国風」的文化現象とは何かという点について、さらに精緻に、かつ総合的に検討することが求められるようになった。

2.研究の目的

- (1) 平安時代の「国風」的現象とはいったい何であったのかという一点をめぐって、分野・領域を異にする研究者が集結し、それぞれの立場から検討を行った上で討議する。これにより、「国風」化とみえる諸現象の本質・構造・成立過程・変容過程・後世への影響・ジェンダー構造を領域横断的に明らかにする。また、国際交易が活発化する当時の東アジア世界のなかで、なぜそのような現象が日本列島で起こりえたのか、東アジア各地域との共通点・相違点も視野に入れながら考察する。
- (2)得られた研究成果が、分野・領域の枠を超えた共通の議論の「プラットフォーム」となるよう、シンポジウム・図書刊行を通じ、関係諸領域、および一般読書界に向けて広く提示・発信する。

3.研究の方法

(1)研究代表者・分担者・協力者が、それぞれ以下に掲げるテーマについて研究を進め、その上で年4回集合し、順次研究報告と討議を行うことを繰り返した。なお研究協力者として、稲田奈津子(東京大学史料編纂所助教[当時])、中込律子(学習院大学非常勤講師)、李宇玲(中国同済大学副教授[当時])各氏に依頼した。このように複数分野の研究者が討議を繰り返し重ねることにより、分野・領域を横断してみられる「国風」的現象の特徴を捉え、その構造と連動性を発見していった。また、たえず中国や朝鮮との関係性を念頭におき、東アジアの動向のなかで理解することに留意した。なお以上の過程においては、高い実証性をもつことを前提とした。

(2)分担テーマ

佐藤(代表者): 9~12世紀における国制変容と国風文化成立の関係【国制史】

研究全体の前提となる基本儀式書の原本調査と翻刻

滝川(分担者): 9~12世紀の日本漢詩文の変容と他領域との異同 【漢文学】

横内(分担者): 9~12世紀の日本仏教の変容と対外関係 【仏教史】

皿井(分担者): 9~12世紀の日本仏像様式と中国文化との関係 【彫刻史】

塚本 (分担者): 9~12世紀の中国書画と日本書画 【中国書画史】

渡辺秀夫(分担者):9~12世紀の日本漢文学と物語文学 【和漢比較文学】

前田(分担者): 9~12世紀の日本法制度の特徴 【法制史】

渡邊誠 (分担者): 9~12世紀の貿易制度と文化変容の連動性 【 対外関係史】

豊島 (分担者): 9~12世紀の朝鮮史 【朝鮮史】

海野 (分担者): 9~12世紀の日本・中国の建築史 【建築史】

小塩 (分担者): 9~12世紀の日本・中国・朝鮮の貴族文化 【文化史】

稲田(協力者): 9~12世紀の日本・中国の儀礼比較 【儀礼史】中込(協力者): 9~12世紀の日本税財政制度の特徴 【税財政史】

李(協力者): 中国文学からみた9~12世紀日本文学の特徴 【和漢比較文学】

上海在住の李氏は毎回インターネットを通じて参加した。またコロナ禍の最中には全員がインターネットを利用して報告・討議を行った。また家事・育児・介護などとの両立を図り、報告・討議内容を録画して後日視聴する、あるいは当日音声のみにて参加するなど、可能なかぎり各研究者の事情に応じた研究態勢がとれるように図った。

(3) 方法論の錬磨のため、中国大陸などからの文化的波が、日本以上に断続的に、かつ大きく押し寄せてきた歴史をもつ台湾をモデルケースにして理論的検討も行った。また実際に研究代表者・分担者・協力者が台湾に出張し、その重層的な文化状況を実見するとともに、国立故宮博物院にて、同時代の日本には流入しなかった北宋時代の作品群を実見・確認することも行った。

4.研究成果

(1) 文学分野と仏教彫刻分野にみる文化状況

文学分野と仏教彫刻分野では、文化状況の動向・変化に共通するところがきわめて大きいことが明らかになった。いずれの分野においても、9世紀後半~10世紀初頭に「唐文化」の基幹的な要素を移入・受容し終えていた。また10世紀初頭に唐が滅亡したことにより、「唐文化」という日本の貴族層の「教養基盤」が、これ以降、更新されることなく固定化されていくことが実証的に確認された。両分野においては、これ以降、同時代の中国のあり方からの離陸が本格化している。

従来、この時期の文学が取り上げられる際、和歌や仮名物語などが中心的な対象となってきたが、当時の文学状況全体を正確に把握するためには、漢詩文の世界も等しく検討対象に入れる必要があることが確認された。これをまってはじめて、この時期の文学状況が構造的に理解できる。

当時の文学世界は、()渡来漢文世界(=唐文化、日本の貴族層の「教養基盤」)()平安朝漢文世界(受容の緩衝体・フィルター)()和文世界、という三層からなっていた。漢詩文・和文作品とを問わず、その作品一つ一つについて、この三層を意識して位置づけていくことにより、作品一つ一つを国際的な視野のものに理解することができる。

和歌世界についていえば、9世紀末に、和歌が漢詩に劣らぬ日本固有のものという価値観が明確化されてくることが再確認された。ただしその一方で、この時期には、なお漢詩材の和歌への積極的な導入が図られていることも確認された。

(2)絵画分野における文化状況

北宋の水墨画が周辺地域にどのようにひろがったのか/ひろがらなかったのか、それはなぜなのかを比較史的に検討した。比較対象とした地域は、高麗・朝鮮・遼・金・西夏・日本。

遼・日本では北宋山水がほとんど入っておらず受容されていないこと、一方で高麗では北宋山 水が直接的に受容され、また北宋を滅亡させた金では北宋山水が受容されていることなどが確 認された。

こうした事例をいくつも検討することにより、少なくとも絵画様式(形と技法)は、「意味」を伴わないかぎり決して伝播することがなく、外交、ないし相当数の意図をもった人の移動などがないと文化伝播が起こらないことが明らかとなった。

なお初唐文化が、中唐文化を通じて日本に流入するプロセスなども検討の対象になった。

(3)建築分野における文化状況

平安時代に変化した建築的要素・特徴を抽出し、これを同時代の中国での変化・特徴と比較検討した。具体的には、() 平面(礼堂の付加)() 意匠(屋根形状・組物・彩色)()構造(柱位置と屋根形状、長押)が検討ポイントとなった。検討の結果、これらは、(ア)8世紀からの継承、(イ)国内での展開、という2つの流れから発生したものであり、いずれにおいても中国からの技術・意匠の受け入れによるものではないことが明らかとなった。

これに対し、9世紀初頭までは唐の建築との影響関係がうかがわれることも確認された。文学や仏教彫刻と時期を少し異にするが、それぞれの文化分野の特性(とりわけ伝播主体の相違)が背景にあると考えられる。

(4)仏教分野における文化状況

11 世紀に宋に渡った僧・成尋に関する史料を根本的に再検討することによって、彼が「入宋した目的」「経典・書籍をめぐる交流の実態」「当地での宗教活動」を詳細に明らかにした。その結果、従来考えられていたことと相当程度異なる結論が得られることとなった。その内容は今後論文として発表される予定である。

(5)高麗との比較

高麗について、絵画以外の文化分野を検討してみても、日本とは異なり、北宋文化の影響を比較的直接的に受けている。

ところが南宋期になると状況に変化が生じ、日本に近い文化状況になっている可能性がある。 日本と高麗との違いや北宋期と南宋期との違いは、()中国王朝の「国力」の大きさ、() 中国王朝が漢民族か否か、()中国の冊封に入るか入らないか、()中国との使節通交がある かないか、()制度受容か文化受容か、といった5つの要素から説明し得る。この5つの要素は、当該期の日本の状況を分析する際の重要な指標となる。

(6)「国風」的文化現象におけるジェンダー構造

当該期のジェンダー構造について、まずは錯綜している論点を整理した。() 小さなもの、 繊細なもの、軽やかなもの、私的なもの等を「女性性」とすることの是非、() 男性が「女性 化」した、「女性的基準」によって男性が評価されるようになったとする言説の是非、()制作 者・享受者における女性の占める位置、を主な検討対象とした。

その結果、これまでの議論の枠組みは必ずしも妥当とはいえず、むしろそこで各論点の論拠として取り上げられている文化的諸現象は、別の枠組みで捉えたほうがよいことが浮き彫りになってきた。ただしその「別の枠組み」がどのようなものであるかは、なお検討を要する。

(7)「国風」的文化現象の転換点としての 12 世紀後半

12 世紀前期、日本国内で新しい貿易形態が出現・拡大し、従来の国家的貿易管理制度が終焉をむかえる。この管理制度の消滅に連動して、12 世紀後半になると北宋の文化が日本国内で本格的に受容され始める。

12 世紀後半が宋文化受容の画期であることは、これまでも示唆されてきたが、それをさらに実証する事例を積み重ねた。たとえば書籍に例をとると、12 世紀後半までは、北宋の漢籍は、日本に将来されても、その受容は一部の人々に限られ、またその内容はひろく規範とされることのなかったことが、医書や図書目録の分析等から導かれる。北宋が一つの参照軸として浮上してくるのは、やはり12 世紀後半以降とみてよいと判断される。

(8)「国風」的文化現象とは何か

本研究は、「国風文化」について、ひとまず以下のような仮説をたたき台として始められたが、 最終的にこれに合致・補強するデータこそあれ、矛盾するデータは得られなかった。すなわち、 「国風文化」とは、「すでに中国では失われたり、流行しなくなっていた古い唐風の文化」と、 「日本のなかにあった文化」とが並立・融合し、そこに「唐物」と「断片化したいくぶんかの同 時代の中国文化」とが加わって展開していった文化だった、という理解である。

(9)研究成果の公表

以上の研究成果の一部については、中間報告として、2021 年 3 月に開催したシンポジウムにて公表した。幸い、日本史・東洋史・国文学・美術史・宗教史ほか諸分野の研究者が約 140 名参加してくださった。中国・台湾・韓国からも多数の参加があり、期せずして国際的な会合となった。また研究代表者と研究分担者 1 名は、吉川真司ほか編『シリーズ古代史をひらく 国風文化』(岩波書店、2021 年 3 月)に執筆者として参画し、共同研究の成果の一端を一般読書界に向けて公表した。さらに『山川歴史 PRESS』(山川出版社)の編集部の依頼により、中学・高校の先生方を対象に、研究代表者が研究成果の一端を発表した(同 14 号、2024 年 4 月)。このほか、研究代表者・分担者・協力者の個別論文や口頭報告は多数にのぼる。

(10)国内におけるインパクト

本研究グループが公表している成果に対しては、その批判を含め、幸いにもすでに多くの研究者より応答を頂戴している。本研究では、結果的に、1990~2000年代の研究とは異なる認識にたどりつくこととなったが、これに対し、従来の立場から、榎本淳一氏が精力的に論考をいくつも発表されており、同じく河添房江・皆川雅樹両氏も、研究代表者らの理解に疑問を寄せる『「唐物」とは何か』(勉誠出版、2022年)を出版された。また1997年に刊行されていた木村茂光『国風文化の時代』が2024年に復刊され、本研究における認識にコメントを寄せられている。

そうしたなか、新たに「国風文化」に関心をよせる研究者が増えており、関係論考が増加している最中である。近年刊行された有富純也ほか編『摂関・院政期研究を読みなおす』(思文閣出版、2023 年)では、本研究の分担者の一人である小塩慶氏が、現時点での研究状況の整理を試みられている。なお同書の総論では、「国風文化」の研究状況について、「大陸文化を受容する日本の側の文化構造がどのようなものだったかが現在問われており、最も熱い分野の一つでもある」と紹介されている。岩城卓二ほか編『論点・日本史学』(ミネルヴァ書房、2022 年)でも、研究代表者らの研究が最新の動向として取り上げられている。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計20件(うち査読付論文 8件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 6件)

1 . 著者名 佐藤全敏	4.巻 74
2.論文標題 早川庄八『日本古代官僚制の研究』を読む(上)	5.発行年 2021年
3.雑誌名 史論	6.最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
塚本麿充	4
2 . 論文標題 貫休「羅漢図」の時空 - 禅月大師「応夢羅漢図」と伝播する聖地 -	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 空間史学叢書	6 . 最初と最後の頁 149 - 191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 \$20	l 4 44
1 . 著者名 海野聡 	4.巻 44
2.論文標題 饗宴からみた日本の古代宮殿の空間構成	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 空間史学叢書	6 . 最初と最後の頁 103 - 148
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
4 ***	Г <u>а</u> - у е
1 . 著者名 滝川幸司 	4.巻 90 - 10
2.論文標題 阿衡の勅答について	5.発行年 2021年
3.雑誌名 国語国文	6 . 最初と最後の頁 1 - 22
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著名名 海川幸可 2 . 論文標型 中文の文体一つ 「望語」するのは何か 2021年 3 . 雑誌名 カープンアクセス		
注別・	│ 1.著者名	4 . 巻
2 - 論文権題 申文の文体一つ 「望請」するのは何か 2021年 2021年 2021年 2021年 3 - 雑誌名 6 - 最初と最後の頁 1、22 至		
中文の文体一つ 「望請」するのは何か	75/11/3	
中文の文体一つ 「望請」するのは何か	2 - 全全中播店	F 整件
3 . 検診名 女子大国文 6 . 最初と最後の頁 1 · 22 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト週別子) なし 直読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著書名		
# 女子大国文 1 - 22	申文の文体一つ 「望請」するのは何か	2021年
# 女子大国文 1 - 22		
# 女子大国文 1 - 22	3 雑誌夕	6 最初と最後の百
掲載論文の101(デジタルオブジェクト識別子)なし 五誌の有無 無	** *** * *	
# オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1、著書名 激辺秀夫 4・巻 41 2・論文標題 唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格・試譜。からみた平安朝漢詩(句題詩)の生成 5・発行年 2022年 287・350 28	女士入国又	1 - 22
# オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1、著書名 激辺秀夫 4・巻 41 2・論文標題 唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格・試譜。からみた平安朝漢詩(句題詩)の生成 5・発行年 2022年 287・350 28		
# オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1、著書名 激辺秀夫 4・巻 41 2・論文標題 唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格・試譜。からみた平安朝漢詩(句題詩)の生成 5・発行年 2022年 287・350 28		
# オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 1、著書名 激辺秀夫 4・巻 41 2・論文標題 唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格・試譜。からみた平安朝漢詩(句題詩)の生成 5・発行年 2022年 287・350 28	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
1 著名名 1 表名名 2		
1 ・ 著名名 2 ・		////
1 ・ 著名名 2 ・		
1. 著名名名 渡辺秀夫 2. 論文権題 唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格『賦譜』からみた平安朝漢詩(句題詩)の生成 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 万葉集研究 6. 最初と最後の頁 7万葉集研究 1. 著名名 福田奈津子 2. 論文標題 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 1. 著名名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 1. 著名名 海川卓司 オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 海川卓司 2. 論文程題 東西人文の間(デジタルオブジェクト識別子) なし 1. 著名名 海川卓司 4. 巻 15. 発行年 2021年 5. 発行年 2021年 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁 7. 一ブンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 海川卓司 4. 巻 115 5. 発行年 2. 論文程題 海田の心情は詠まれたのか 買平の漫画使と漢詩文 3. 雑誌名 海川卓司 4. 巻 115 5. 発行年 2. 論文程題 海田の心情は詠まれたのか 買平の漫画使と漢詩文 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 16-34	=	国際共者
1. 著名名名 渡辺秀夫 2. 論文権題 唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格『賦譜』からみた平安朝漢詩(句題詩)の生成 5. 発行年 2022年 3. 雑誌名 万葉集研究 6. 最初と最後の頁 7万葉集研究 1. 著名名 福田奈津子 2. 論文標題 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 1. 著名名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 1. 著名名 海川卓司 オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 海川卓司 2. 論文程題 東西人文の間(デジタルオブジェクト識別子) なし 1. 著名名 海川卓司 4. 巻 15. 発行年 2021年 5. 発行年 2021年 6. 最初と最後の頁 6. 最初と最後の頁 7. 一ブンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著名名 海川卓司 4. 巻 115 5. 発行年 2. 論文程題 海田の心情は詠まれたのか 買平の漫画使と漢詩文 3. 雑誌名 海川卓司 4. 巻 115 5. 発行年 2. 論文程題 海田の心情は詠まれたのか 買平の漫画使と漢詩文 5. 発行年 2020年 6. 最初と最後の頁 16-34	オープンアクセスとしている (また、その予定である)	-
### 2025年 41		
### 2025年 41	1 英老夕	
2 論文榜題		
唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格『誠譜』からみた平安朝漢詩《句題詩》の生成 2022年 3 . 雑誌名 万葉集研究 6 . 最初と最後の頁 287 - 350 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 16 2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文 (慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 1 . 著書名 海川辛司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡廊の心情は詠まれたのか 寛平の遺歴使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 請文 (大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無	渡辺秀夫	41
唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格『誠譜』からみた平安朝漢詩《句題詩》の生成 2022年 3 . 雑誌名 万葉集研究 6 . 最初と最後の頁 287 - 350 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 16 2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文 (慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 1 . 著書名 海川辛司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡廊の心情は詠まれたのか 寛平の遺歴使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 請文 (大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無		
唐文化の受容と国風文化の創出 唐伝来の賦格『誠譜』からみた平安朝漢詩《句題詩》の生成 2022年 3 . 雑誌名 万葉集研究 6 . 最初と最後の頁 287 - 350 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4 . 巻 16 2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文 (慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 有 1 . 著書名 海川辛司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡廊の心情は詠まれたのか 寛平の遺歴使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 請文 (大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無	2.論文標題	5、発行年
3. 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 287 - 350 月報輸放文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 宣読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1. 著書名 稲田宍津子 4 . 巻 16 2. 論文標題東アジア儀礼研究の新視角「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3. 雑誌名東西人文(慶北大学校人文学柄院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 直読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1. 著書名 滝川幸司 4 . 巻 115 2. 論文標題 波像の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3. 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無		
万葉集研究 287 - 350	居又1000支谷と国風又100別山 居15米の賦俗・賦譜』からみに半女朔漢詩《可趣詩》の生成	2022年
万葉集研究 287 - 350		
万葉集研究 287 - 350	3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 有		
なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1. 著者名 稲田奈津子 4. 巻 16 2. 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6. 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 115 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 115 2. 論文標題 渡島の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5. 発行年 2020年 2020年 2020年 16-34 3. 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6. 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無	ᄭᄌᅑᄥᆝᄼᅝ	201 - 330
なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1. 著者名 稲田奈津子 4. 巻 16 2. 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6. 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 115 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 115 2. 論文標題 渡島の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5. 発行年 2020年 2020年 2020年 16-34 3. 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6. 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無		
なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1. 著者名 稲田奈津子 4. 巻 16 2. 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6. 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 115 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 115 2. 論文標題 渡島の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5. 発行年 2020年 2020年 2020年 16-34 3. 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6. 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無		
なし 有 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 1. 著者名 稲田奈津子 4. 巻 16 2. 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6. 最初と最後の頁 571 - 595 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 115 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 115 2. 論文標題 渡島の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5. 発行年 2020年 2020年 2020年 16-34 3. 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6. 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 無	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 福田奈津子 4 . 巻 16	かし	有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4.巻 1. 著者名 稲田奈津子 4.巻 2. 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角「物品目録」の検討から 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6. 最初と最後の頁 571~595 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 1. 著者名 海川幸司 4.巻 1115 2. 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6. 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 16-34		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 4.巻 1. 著者名 稲田奈津子 4.巻 2. 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角「物品目録」の検討から 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6. 最初と最後の頁 571~595 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし 査読の有無 有 1. 著者名 海川幸司 4.巻 115 2. 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6. 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 16-34	+ 1,7,7,7,4,7	F
1 . 著者名 稲田奈津子 4 . 巻 16 2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571~595 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無	=	国除共者
1 . 著者名 稲田奈津子 4 . 巻 16 2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571~595 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
超田奈津子 16 2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571~595 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34		
超田奈津子 16 2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571~595 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34	1 英老夕	A
2 . 論文標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571~595 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遺唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無		
東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 2021年 3 . 雑誌名 東西人文 (慶北大学校人文学術院、韓国)	稲田宗津子	16
東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 2021年 3 . 雑誌名 東西人文 (慶北大学校人文学術院、韓国)		
東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から 2021年 3 . 雑誌名 東西人文 (慶北大学校人文学術院、韓国)	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国) 6 . 最初と最後の頁 571 ~ 595 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 有 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 波唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無		
東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国)571~595掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 -1 . 著者名 濱川幸司4 . 巻 1152 . 論文標題 波唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会)6 . 最初と最後の頁 16-34掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無	来アプラ 機能研究の別所用 初曲百録1 の1次63万円	20214
東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国)571~595掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著 -1 . 著者名 濱川幸司4 . 巻 1152 . 論文標題 波唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会)6 . 最初と最後の頁 16-34掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無		
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	3 . 雑誌名	6.最初と最後の負
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	東西人文(慶北大学校人文学術院、韓国)	571 ~ 595
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無		
なし 有 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無		**************************************
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無	掲載舗又のDOI(アシタルオフシェクト識別子)	(
オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無	なし	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 無	オープンアクセフ	国際共革
1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 115 2 . 論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6 . 最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無		国际 八省
滝川幸司 115 2.論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5.発行年 2020年 3.雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6.最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無	オーノンアクセ人としている(また、その予定である)	-
滝川幸司 115 2.論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5.発行年 2020年 3.雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6.最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無		
滝川幸司 115 2.論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5.発行年 2020年 3.雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6.最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無	1.著者名	4 . 巻
2.論文標題 渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文 5.発行年 2020年 3.雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会) 6.最初と最後の頁 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無		_
渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文2020年3.雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会)6.最初と最後の頁 16-34掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無	ᄹᄱᆍᆈ	110
渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文2020年3.雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会)6.最初と最後の頁 16-34掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無		
渡唐の心情は詠まれたのか 寛平の遣唐使と漢詩文2020年3.雑誌名 語文(大阪大学国語国文学会)6.最初と最後の頁 16-34掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無	2 . 論文標題	5.発行年
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 語文(大阪大学国語国文学会) 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無	渡康の心情は詠まれたのか、 實平の遣唐使と漢詩文	
語文(大阪大学国語国文学会) 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無	MAC TO TO TO THE TOTAL OF THE PARTY OF THE P	2020 1
語文(大阪大学国語国文学会) 16-34 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無	2 145+47	C = 171. = 14. A =
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	語文 (大阪大学国語国文学会)	16-34
なし		
なし		
なし	相手会かのハノ プッカル・オット カー かいコン	木芸の左仰
	なし	無
オープンマクセフ		
	オープンアクセス	国際共著
		当 你六有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	オーフンアクセスではない、又はオーフンアクセスが困難	-

1 - 著名名		
選出祭本 塩目歌の音 2 - 語文程語 5 - 発行年 2011年 3 - 雑誌名 7 - ブンアクセス 2013年 2013年	1.著者名	4 . 巻
2 : 論文標題 古典の読み方 - ** *** *** *** *** *** *** *** *** *		
古典の読み方-『竹取物語』をあぐるこ、三の問題 2021年 3 - 報話名 6 - 最初と監役の頁 16-22		
古典の読み方-『竹取物語』をあぐるこ、三の問題 2021年 3 - 報話名 6 - 最初と監役の頁 16-22	2 输文框項	5 発行任
3 . 雑誌名 平安朝文学研究 日本語の70001(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが図離 1 . 声音名 渡邊湖 日本津や国家の「帝国」型鑑礼体系の解体 2 . 施文理題 日本津や国家の「帝国」型鑑礼体系の解体 3 . 組誌名 史人 6 . 最初と量徳の頁 76-107	····	I
16-22	古典の読みカー・竹取初品』をめてる二、三の同選	2021年
16-22	- 101 6	
掲載論文の001(デジタルオブジェクト護別子)		6.最初と最後の負
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 番名名 渡遠議 4 . 巻 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	平安朝文学研究	16-22
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 番名名 渡遠議 4 . 巻 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 番名名 渡遠議 4 . 巻 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		
なし 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 番名名 渡遠議 4 . 巻 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト:	査詰の有無
1 著名名 渡邉湖 2 . 論文標題 4 . 巻 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		
1 著名名 選者名 2 : 論文標題	40	[
1 著名名 選者名 2 : 論文標題		
1. 著名名 渡邊誠 2. 論文標題 日本律令国家の「帝国」型儀礼体系の解体 3. 雑誌名 史人 6. 最初と最後の頁 で6-107 76-107	オープンアクセス	国際共著
1. 著名名 渡邊誠 2. 論文標題 日本律令国家の「帝国」型儀礼体系の解体 3. 雑誌名 史人 6. 最初と最後の頁 で6-107 76-107	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
### 2 - 論文標題		
### 2 - 論文標題	1 英老々	4 *
2 - 論文標題 日本律令国家の「帝国」型儀礼体系の解体		
日本律令国家の「帝国」型機礼体系の解体 3.雑誌名 史人 6.最初と最後の頁 76-107 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1.蓄名名 波邊誠 2.論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3.雑誌名 史学研究 4-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス 「国際共著 2021年 4.巻 308 2.論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3.雑誌名 海川幸司 1.著名名 海川幸司 2.論文標題 第 4.巻 65 第 308 1. 著名名 第 308 2. 音文表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	凒透 誠	8
日本律令国家の「帝国」型機礼体系の解体 3.雑誌名 史人 6.最初と最後の頁 76-107 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1.蓄名名 波邊誠 2.論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3.雑誌名 史学研究 4-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス 「国際共著 2021年 4.巻 308 2.論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3.雑誌名 海川幸司 1.著名名 海川幸司 2.論文標題 第 4.巻 65 第 308 1. 著名名 第 308 2. 音文表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表		
日本律令国家の「帝国」型橋礼体系の解体 3 . 雑誌名 史人 6 . 最初と最後の頁 76-107 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 波邊誠 2 . 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3 . 雑誌名 史学研究 4 . 25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス 1 . 著名名 波地語名 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3 . 雑誌名 カーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著名名 海川幸司 2 . 論文標題 音が模題 音が現題 音が規題 音が規題 音が規題 音が現題 音が規題 音が規題 音が規題 音が規題 音が規題 音が規題 音が規題 音が規	2 . 論文標題	5 . 発行年
3 . 雑誌名 史人	日本律今国家の「帝国」型儀礼体系の解体	
・ 大き 2. 論文標題 4. 巻 ・ おープンアクセス 1. 著者名 ・ 選議議 2. 論文標題 5. 発行年 ・ 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5. 発行年 ・ 記がと最後の頁 4. 25 ・ 最初と最後の頁 4. 25 ・ 表書名 本・ブンアクセス 「表書名名 本・ブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著書名 4. 巻 ・ 適別事司 4. 巻 2 . 論文標題 管原道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名	BITTS BOY DELI EMILITA VITT	
・ 大き 2. 論文標題 4. 巻 ・ おープンアクセス 1. 著者名 ・ 選議議 2. 論文標題 5. 発行年 ・ 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5. 発行年 ・ 記がと最後の頁 4. 25 ・ 最初と最後の頁 4. 25 ・ 表書名 本・ブンアクセス 「表書名名 本・ブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著書名 4. 巻 ・ 適別事司 4. 巻 2 . 論文標題 管原道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名	2 hB±1-47	6 見知と見後の声
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 渡邊論 2 . 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3 . 雑誌名 史学研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 管所適異と適唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 記様話名 記様話名 記様は、大阪大学古代中世文学研究会) 1 . 類談論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし カーブンアクセス 「掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なと 現実著 カーブンアクセス 「最新論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なと 「日朝と最後の頁 17-30 「日朝と最後の頁 17-30 「日朝と最後の頁 17-30 「日朝による 「日朝と最後の頁 17-30		
### オープンアクセス	史人	76-107
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス	掲載論文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 渡邉誠 4.巻 308 2. 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5.発行年 2021年 3. 雑誌名 史学研究 6.最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 海川幸司 2. 論文標題 言原道真と遭唐使(一) 「請令諸公卿議定遭唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5.発行年 2019年 3. 雑誌名 司材 (大阪大学古代中世文学研究会) 6. 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 渡邉誠 4. 巻 308 2. 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 史学研究 6. 最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 面際共著 - 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 65 2. 論文標題 菅原道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6. 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	40	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1. 著者名 渡邉誠 4. 巻 308 2. 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5. 発行年 2021年 3. 雑誌名 史学研究 6. 最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 面際共著 - 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 65 2. 論文標題 菅原道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6. 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
1 . 著者名 渡邊誠 2 . 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3 . 雑誌名 史学研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 満川幸司 2 . 論文標題 曹原道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 同林(大阪大学古代中世文学研究会) 2 . 論文標題 音別道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 同様に大阪大学古代中世文学研究会) 3 . 雑誌名 同様に大阪大学古代中世文学研究会 4 . 巻 65 . 最初と最後の頁 17-30 17-30 18載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 17-30	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 渡邊誠 2 . 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3 . 雑誌名 史学研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 満川幸司 2 . 論文標題 曹原道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 同林(大阪大学古代中世文学研究会) 2 . 論文標題 音別道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 同様に大阪大学古代中世文学研究会) 3 . 雑誌名 同様に大阪大学古代中世文学研究会 4 . 巻 65 . 最初と最後の頁 17-30 17-30 18載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 17-30	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
渡邉誠 308 2 . 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 史学研究 6 . 最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
渡邉誠 308 2 . 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 史学研究 6 . 最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	1 英字夕	4
2 . 論文標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 5 . 発行年 2021年 3 . 雑誌名 史学研究 6 . 最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重読の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 国際共著 - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 65 2 . 論文標題 菅原道真と遺唐使(一) 「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著		
東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3 . 雑誌名 史学研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 3 . 雑誌名	波透詉	308
東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考 3 . 雑誌名 史学研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 4 . 巻 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 3 . 雑誌名		
3 . 雑誌名 史学研究 6 . 最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 湾川幸司 4 . 巻 65 2 . 論文標題 菅原道真と遭唐使(一) 「請令諸公卿議定遭唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名 史学研究 6 . 最初と最後の頁 4-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 湾川幸司 4 . 巻 65 2 . 論文標題 菅原道真と遭唐使(一) 「請令諸公卿議定遭唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	東アジアのなかの日本律今国家「唐風化」再考	2021年
皮学研究 4-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 65 2. 論文標題 菅原道真と遺唐使(一)「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6. 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	XVVV Oran Colombia (Inc.)	2021
皮学研究 4-25 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 重読の有無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名 滝川幸司 4. 巻 65 2. 論文標題 菅原道真と遺唐使(一)「請令諸公卿議定遺唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5. 発行年 2019年 3. 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6. 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	2 1444-47	て 見知に見後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
### オープンアクセス	史学研究	4-25
### オープンアクセス		
### オープンアクセス		
### オープンアクセス	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 65		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 65 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	to 1 .	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 65 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	なし	#
1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 65 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
1 . 著者名 滝川幸司 4 . 巻 65 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6 . 最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	
滝川幸司 65 2.論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5.発行年 2019年 3.雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6.最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	
滝川幸司 65 2.論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5.発行年 2019年 3.雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6.最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	
2.論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 5.発行年 2019年 3.雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6.最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 2019年 3.雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6.最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 2019年 3.雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6.最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 2019年 3.雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 6.最初と最後の頁 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著 - 4.巻 65
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 17-30 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著 - 4.巻 65
詞林 (大阪大学古代中世文学研究会) 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著 - 4.巻 65 5.発行年
詞林 (大阪大学古代中世文学研究会) 17-30 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年
# また	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# また	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# また	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# また	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中-牒」の再検討 3 . 雑誌名	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会)	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 17-30
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会)	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 17-30
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会)	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 17-30
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 17-30
	オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 滝川幸司 2 . 論文標題 菅原道真と遣唐使(一) 「請令諸公卿議定遣唐使進止状」「奉勅為太政官報在唐僧中一牒」の再検討 3 . 雑誌名 詞林(大阪大学古代中世文学研究会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	国際共著 - 4 . 巻 65 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 17-30

1.著者名	4 . 巻
渡邊誠	305
11-A-2-11-17	
2 5公女师臣	F 整件
2.論文標題	5 . 発行年
日本律令国家における夷狄身分の解体	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
史学研究	1-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
40	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
豊島悠果	262
2.論文標題	5.発行年
朝鮮における垂簾聴政権	2020年
Ŧフiテャナ IC ロク I ク ② 坐療 ヤ応ルス 『性	2020+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歴史と地理 - 世界史の研究	53-56
EACTOR COLORS	55 55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
=	国际
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
塚本麿充	84
2.論文標題	5.発行年
江戸時代の中国絵画コレクション 近代・中国美術史学への懸け橋	2019年
江/ 401000 中国版画コレノノコン 足10 ・中国大阪文子 (の窓17個	2010—
	6 B47 L B/4 6 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
SGRA レポート	4-25
	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	
	無
	無
オープンアクセス	
	無
オープンアクセス	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡	国際共著 - 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡	国際共著 - 4 . 巻
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 2 . 論文標題 中世興福寺の伽藍復興に見る建築の 復古 思想	無 国際共著 - 4.巻 5.発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 海野聡 2 . 論文標題 中世興福寺の伽藍復興に見る建築の 復古 思想 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 2 . 論文標題 中世興福寺の伽藍復興に見る建築の 復古 思想	無 国際共著 - 4.巻 5.発行年 2020年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 海野聡 2 . 論文標題 中世興福寺の伽藍復興に見る建築の 復古 思想 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-22
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 2 . 論文標題 中世興福寺の伽藍復興に見る建築の 復古 思想 3 . 雑誌名 建築におけるオリジナルの価値(日本建築学会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-22
オープンアクセス	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-22
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 2 . 論文標題 中世興福寺の伽藍復興に見る建築の 復古 思想 3 . 雑誌名 建築におけるオリジナルの価値(日本建築学会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-22 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 海野聡 2 . 論文標題 中世興福寺の伽藍復興に見る建築の 復古 思想 3 . 雑誌名 建築におけるオリジナルの価値(日本建築学会) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 7-22

1.著者名	4.巻
稲田奈津子	3333
2.論文標題	5.発行年
日本古代皇后制度的形成與中國禮制	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
古今論衡	35-58
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4.巻
李宇玲	96
2.論文標題	5.発行年
『源氏物語』と「秋興賦」	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
國語と國文學	19-34
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
李宇玲	203
2.論文標題	5 . 発行年
中唐視域下的平安朝漢詩流変考	2019年
100	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日語学習与研究	78-86
┃	 査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
	III WALL
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	- 4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲	- 4.巻 第27期
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題	- 4.巻 第27期 5.発行年
オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲	- 4.巻 第27期
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』" 窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考	- 4.巻 第27期 5.発行年 2019年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』" 窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 第27期 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』" 窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考	- 4.巻 第27期 5.発行年 2019年
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』" 窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考 3 . 雑誌名	- 4 . 巻 第27期 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』"窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考 3 . 雑誌名 東北亜外語研究	- 4 . 巻 第27期 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 78 - 84
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』"窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考 3 . 雑誌名 東北亜外語研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 第27期 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 78 - 84
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』"窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考 3 . 雑誌名 東北亜外語研究	- 4 . 巻 第27期 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 78 - 84
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』"窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考 3 . 雑誌名 東北亜外語研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 第27期 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 78 - 84 査読の有無 有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 李宇玲 2 . 論文標題 『竹取物語』"窺視"場景與初唐小説『遊仙窟』之関聯考 3 . 雑誌名 東北亜外語研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 第27期 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 78 - 84

[学会発表] 計15件(うち招待講演 8件/うち国際学会 6件)
1.発表者名 佐藤全敏
2 . 発表標題 歴史学からみた平安時代法制史研究の現在
歴史子がらめた十爻時代法嗣史研究の現在
3.学会等名
第72回法制史学会研究大会(招待講演)
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
塚本麿充
2.発表標題
「天書」と「舎利」一宋代宮廷における宗教文物と場所
宮と都の東アジア比較宗教史シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
豊島悠果
2.発表標題
開京の宗教的施設と高麗王室 王室祖先崇拝の諸相
3 . 子云寺石 宮と都の東アジア比較宗教史シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
豊島悠果
2 英丰福度
2 . 発表標題 11~12世紀の高麗政治社会と李子淵系仁州李氏 摂関期藤原氏との比較を視野に
3.学会等名 東アジア后位比較史研究会
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名
2 . 発表標題 詔勅の文章について 阿衡の詔勅・勅答をめぐって
3.学会等名 第65回国際東方学者会議(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 稲田奈津子
2.発表標題 日本古代的殯(mogari)與女性
3.学会等名 「東亞宗教與王權」工作坊(中央研究院「東亞文化意象的博物書寫與物質文化」主題計畫・科技部「年號與東亞古代王權」專題計畫)(招 待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 小塩慶
2 . 発表標題 日本古代における祥瑞とその展開
3.学会等名 東京大学史料編纂所研究発表会
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 稲田奈津子
2.発表標題 東アジア儀礼研究の新視角 「物品目録」の検討から
3.学会等名 慶北大学校人文学術院HK+事業団 第1回国際学術大会「古代東アジア文字資料研究の現在と未来 韓国・中国・日本出土木簡資料を中心に 」(国際学会)
4 . 発表年 2020年

1.発表者名
渡辺秀夫
2 . 発表標題 平安文学における唐文化の受容と国風化 唐伝来『賦譜』と王朝漢文学
2
3 . 学会等名 ミニ・シンポジウム「国風文化」の再定義に向けて
4.発表年
2021年
1 . 発表者名 渡邊誠
<i>没</i> 透现
2 . 発表標題 東アジアのなかの日本律令国家「唐風化」再考
3.学会等名
2019年度広島史学研究会大会(招待講演)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名 渡邊誠
2 . 発表標題
日宋貿易と宋代漢籍の受容
3.学会等名
ミニ・シンポジウム「国風文化」の再定義に向けて
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 豊島悠果
2.発表標題
高麗王室の婚姻と政治体制
3 . 学会等名
東アジア后位比較史研究会
4 . 発表年 2020年

1.発表者名 豊島悠果	
2.発表標題	
高麗前期の文化と中国 - 「国風文化」との比較を視野に	
 3.学会等名 ミニ・シンポジウム「国風文化」の再定義に向けて	
4 . 発表年 2021年	
1.発表者名 海野聡	
2 . 発表標題 古代からみた建築史の時代区分の再考	
3.学会等名 日本建築史研究会(建築史研究の枠組を考える - 日本建築史の時代区分 -)(招待講演)	
4.発表年 2019年	
1.発表者名 李宇玲	
2 . 発表標題 『源氏物語』における中国文学の投影と展開 新たな地平に向けて	
 3.学会等名 中国古文献の投影と展開 日本古典文学研究の新地平 中日学術会議(招待講演)(国際学会) 	
4 . 発表年 2019年	
〔図書〕 計23件 1.著者名	4.発行年
横内裕人	2022年
2 . 出版社 吉川弘文館	5.総ページ数 ²⁸⁰
3.書名 京都の中世史2 平氏政権と源平争乱	

1 . 著者名 横内裕人	4 . 発行年 2022年
2.出版社 勉誠出版	5.総ページ数 698
3.書名 宗教遺産テクスト学の創成(木俣元一・近本謙介編)	
1.著者名 皿井舞	4 . 発行年 2021年
2.出版社 東京国立博物館	5.総ページ数 ⁴⁷⁴
3.書名 『国宝鳥獣戯画のすべて』展図録(東京国立博物館編)	
1.著者名 皿井舞	4 . 発行年 2021年
2 . 出版社 東京国立博物館	5.総ページ数 411
3.書名 『最澄と天台宗のすべて』展図録(東京国立博物館編)	
1 . 著者名	
日 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	2022年
2. 出版社 東京国立博物館	5.総ページ数 158
3.書名 『空也上人と六波羅蜜寺』展図録(東京国立博物館編)	

***	1 . =
1.著者名	4.発行年
稲田奈津子	2021年
2.出版社	5.総ページ数
八木書店	488
3 . 書名	
3 · 青石 古代日本対外交流史事典(鈴木靖民監修、高久健二・田中史生・浜田久美子編)	
ロIVロಞスコク「乂ルメ、宇央(対小明に亜修、向人唯一・ロザ丈土・伏田人夫丁綱 <i>)</i> 	
	_
1 . 著者名	4 . 発行年
中込律子	2021年
	5 W 0 28W
2.出版社	5.総ページ数
八木書店	554
3 . 書名	
③:盲句 馬と古代社会(佐々木虔一・川尻秋生・黒済和彦編)	
]
1 . 著者名	4 . 発行年
佐藤全敏	2021年
	5.総ページ数
と・山脈性 岩波書店	349
3.書名	
吉村武彦他編『シリーズ古代史をひらく 国風文化』	
	J
1.著者名	4.発行年
	2021年
2.出版社	5.総ページ数
岩波書店	349
つ 津夕	
3 . 書名 吉村武彦他編『シリーズ古代史をひらく 国風文化』	
ロバルルドに端ってソースロル文をいって 国風人心』 	

	1
1. 著者名 海海 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	4 . 発行年
渡邊誠	2020年
	- 40.00
2.出版社 朝倉書店	5.総ページ数 464
初后目 [2]	-07
3.書名	
阿部猛他編『郷土史大系 巻 生産・流通(上)』	
	J
1.著者名	4.発行年
渡邊誠	2020年
2.出版社	5.総ページ数
朝倉書店	408
3 . 書名	
3 · 目 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
1.著者名	4 . 発行年
横内裕人	2020年
	5 44 40 5 5 5 5 6
2 . 出版社 吉川弘文館	5.総ページ数 338
3 . 書名 上島享・佐藤文子編『日本宗教史 4 宗教の受容と交流』	
上両子・性豚乂丁鯛・口平示叙丈4示叙U文合C父流』 	
	J
1.著者名	4.発行年
塚本麿充	2020年
2. 出版社	5.総ページ数
中央公論美術出版	696
3.書名	
板倉聖哲編『アジア佛教美術論集 東アジア 南宋・大理・金』	

1.著者名	4 . 発行年
塚本麿充	2021年
2. 出版社	5. 総ページ数
中央公論美術出版	700
~・日 1 板倉聖哲・塚本麿充編『アジア佛教美術論集 東アジア 北宋・遼・西夏』	
NORTH WITHOUT Y Y VERY VITA VITA VITA VITA VITA VITA VITA VITA	
	I
1.著者名	4.発行年
	2020年
- 物学局/し	2020 *
2.出版社	5.総ページ数
	5 . 総ペーン奴 359
知泉書館	309
つ 津夕	
3.書名	
江川温他編『東西中世のさまざまな地平 フランスと日本の交差するまなざし 』	
4 英老々	4 25/2/5
1. 著者名	4 . 発行年
海野聡	2020年
о шисэ⊥	「
2. 出版社	5.総ページ数
	440
東北歴史博物館	143
宋心歴史博物館 	143
	143
3.書名	143
	143
3.書名	143
3.書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』	
3.書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1.著者名	4.発行年
3.書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』	
3.書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1.著者名	4.発行年
3.書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1.著者名	4.発行年
3.書名東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1.著者名 稲田奈津子	4.発行年 2021年
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3.書名東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1.著者名 稲田奈津子	4.発行年 2021年
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社 同成社	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社 同成社 3 . 書名	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社 同成社	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社 同成社 3 . 書名	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社 同成社 3 . 書名	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社 同成社 3 . 書名	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数
3 . 書名 東北歴史博物館『伝えるかたち/伝えるわざ 伝達と変容の日本建築』 1 . 著者名 稲田奈津子 2 . 出版社 同成社 3 . 書名	4 . 発行年 2021年 5 . 総ページ数

	. = 4 /= 1
1.著者名	4 . 発行年
滝川幸司	2019年
2. 出版社	5.総ページ数
	280
1 / ~ 4 1110 431 14	
3.書名	
3 · 音句 菅原道真 学者政治家の栄光と没落	
- 日 が足兵 ナロ以心豕の木ルC及冷	
4 ***	4 30/- 5-
1 . 著者名	4 . 発行年
豊島悠果	2019年
2.出版社	5.総ページ数
景仁文化社(韓国)	336
3 . 書名	
韓国中世史学会・京畿文化財団・仁川文化財団編『高麗王朝と21世紀コリアの未来遺産』 1	
1.著者名	4.発行年
	2019年
夏岡心木	2019 T
2 山底社	Γ 4/λ 6° > *#h
2. 出版社	5.総ページ数
2 . 出版社 勉誠出版	5.総ページ数 ³³⁵
勉誠出版	
勉誠出版3.書名	
勉誠出版	
勉誠出版3.書名	
勉誠出版3.書名	
勉誠出版3.書名	
勉誠出版3.書名	
勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』	
勉誠出版3.書名	335
勉誠出版3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』1.著者名	335
勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』	335
勉誠出版3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』1.著者名	335
勉誠出版3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』1.著者名	335
勉誠出版3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』1.著者名 塚本麿充	335 4.発行年 2019年
 勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』 1.著者名 塚本麿充 2.出版社 	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
勉誠出版3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』1.著者名 塚本麿充	335 4.発行年 2019年
 勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』 1.著者名 塚本麿充 2.出版社 	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
勉誠出版 3 . 書名	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』 1.著者名 塚本麿充 2.出版社 国書刊行会 3.書名 	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
勉誠出版 3 . 書名	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』 1.著者名 塚本麿充 2.出版社 国書刊行会 3.書名 	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』 1.著者名 塚本麿充 2.出版社 国書刊行会 3.書名 	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』 1.著者名 塚本麿充 2.出版社 国書刊行会 3.書名 	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 勉誠出版 3.書名 古松崇志ほか編『金・女真の歴史とユーラシア東方』 1.著者名 塚本麿充 2.出版社 国書刊行会 3.書名 	335 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数

1 . 著者名	4 . 発行年
稲田奈津子	2019年
2 . 出版社	5.総ページ数
狭川真一さん還暦記念会	767
3 . 書名	
狭川真一さん還暦記念会編『論集 葬送・墓・石塔』	
	1
1 . 著者名	4.発行年
李宇玲	2020年
2 . 出版社	5.総ページ数
花鳥社	216
3 . 書名	
はじめて読む 源氏物語	
	1

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

_ 0	. 研乳組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	塚本 麿充	東京大学・東洋文化研究所・教授	
研究分担者	(Tsukamoto Maromitsu)		
	(00416265)	(12601)	
	海野 聡	東京大学・大学院工学系研究科(工学部)・准教授	
研究分担者	(Unno Satoshi)		
	(00568157)	(12601)	
	豊島 悠果	神田外語大学・外国語学部・准教授	
研究分担者	(Toyoshima Yuka)		
	(10597727)	(32510)	

6.研究組織(つづき)

_6	. 研究組織(つづき)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	横内 裕人	京都府立大学・文学部・教授	
研究分担者	(Yokouchi Hiroto)		
	(50706520)	(24302)	
	海川 幸司	大阪大学・文学研究科・教授	
研究分担者	(Takigawa Koji)	ハベスハチ ステ ッ リルパイ かい	
	(80309525)	(14401)	
\vdash	前田 禎彦	神奈川大学・国際日本学部・教授	
研究分担者	(Maeda Yoshihiko)		
	(80367250)	(32702)	
-	(00307230) 皿井 舞	学習院大学・文学部・教授	
研究分担者	(Sarai Mai)		
	(80392546)	(32606)	
\vdash	小塩 慶	東京大学・史料編纂所・助教	
研究分担者	(Oshio Kei)		
<u></u>	(80880765)	(12601)	
研究分担者	渡辺 秀夫 (Watanabe Hideo)	信州大学・人文学部・名誉教授	
	(90123083)	(13601)	
\vdash	渡邊 誠	広島大学・人間社会科学研究科(総)・准教授	
研究分担者	(Watanabe Makoto)		
	(90805269)	(15401)	

6 . 研究組織(つづき	•
--------------	---

	・Mの元組織 (フラビ) 氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	中込 律子		
研究協力者	李 宇玲 (Li Urei)		
研究協力者	稲田 奈津子 (Inada Natsuko)		

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------